

第4次総合計画の検証

【総括版】

目次

I 分野別計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

- 1 自然環境への優しさと暮らしの安全を大切にするまちづくり [環境・安全]・P 2
- 2 健やかな日々と地域のぬくもりにみちたまちづくり [健康・福祉]・・・・P 4
- 3 豊かな心の育みと文化の薫りにあふれるまちづくり [教育・文化]・・・・P 6
- 4 産業の活力とふるさとの魅力がみなぎるまちづくり [産業・観光]・・・・P 8
- 5 都市のうるおいと生活空間の快適さのあるまちづくり [都市・建設]・・・・P 10
- 6 自ら担う喜びとみんなで支えあう力で築くまちづくり [自治・協働]・・・・P 12

※ 施策ごとの検証資料は別冊資料1-2「第4次総合計画の検証【詳細版】」参照

II まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進・・・・・・・・ P 14

※ 基本目標ごとの検証資料は別冊資料1-3「まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証【詳細版】」参照

III 健全財政の継続・・・・・・・・・・・・・・・・ P 16

I 分野別計画

○第4次防府市総合計画では、「環境・安全」、「健康・福祉」、「教育・文化」、「産業・観光」、「都市・建設」、「自治・協働」の6つの分野別計画とそれを支える41の施策を体系化し、施策ごとの取組を着実に推進してきた。

○第4次総合計画が終期を迎えるにあたり実施した調査等に基づく「市民満足度指標」及び「目標指標」の結果は、次の表のとおりである。

【市民満足度指標(45指標)の達成状況】 市民アンケート調査(平成31年2月実施)

内 容		達成状況	項目数
目標達成		☆	5
目標未達	平成22年対比	上昇	40
		下落	0

【目標指標(74指標)の達成状況】 令和元年度行政評価調書(平成30年度実績)

内 容		達成状況	項目数
目標達成		☆	17
目標未達	平成21年度対比	進捗有	40
		進捗無	17

【全体の状況】

○「市民満足度指標」は、各施策を実施したことによって得られる満足の状況や効果の実感を測っている。45指標の内、5指標が目標(令和2年)を達成し、残りの40指標においても満足度は上昇している。

○「目標指標」は、施策の展開や事業の実施・進捗を測る主な指標を設定している。74指標の内、17指標が目標(令和2年度)を達成し、40指標が当初値より進捗した。残りの17指標は進捗無となっている。

施策を検証した分野ごとの概要については、以下のとおりである。

1 自然環境への優しさと暮らしの安全を大切にすまちづくり [環境・安全]

【市民満足度指標・目標指標の達成状況一覧】

(状況：☆は目標達成、↑は上昇又は進捗有、－は下落又は進捗無)

【1-1 環境保全対策の推進】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	豊かで美しい自然が身近にある	70%	83%	80%	☆
目標指標	水質に関する環境基準達成状況 (測定項目：BOD、COD、全窒素、全りん)	12/14 項目・地点	12/14 項目・地点	14/14 項目・地点	－
	CO ₂ 削減運動取組事業所数(年間)	82事業所	307事業所	160事業所	☆
【1-2 循環型社会の形成】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	ごみの減量やリサイクル活動、 分別収集などが適正に行われている	73%	85%	80%	☆
目標指標	一人あたりのごみ (可燃ごみ、不燃ごみ)排出量(年間)	400kg	309kg	300kg以下	↑
	ごみリサイクル率	10%	26.9%	30.8%	↑
【1-3 環境衛生の推進】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	地域で清掃などの環境美化活動が進め られている	67%	75%	80%	↑
目標指標	浄化槽設置基数(年間)	151基	144基	220基	－
	新規貸出基地等の区画数(延べ数)	－	178区画	200区画	↑
【1-4 消防・救急体制の充実】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	消防や救急の体制が整っている	62%	81%	80%	☆
目標指標	普通救命講習受講者数(年間)	1,446人	996人	2,000人	－
【1-5 防災対策の充実】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	災害に関する情報伝達の体制が整って いる	34%	56%	70%	↑
目標指標	自主防災組織率	49%	100%	100%	☆
	防災情報メールサービス登録者数 (年間)	1,000人	10,417人	15,000人	↑
【1-6 治山・治水対策の充実】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	河川の氾濫や土砂災害など自然災害へ の対策が充実している	22%	46%	55%	↑
目標指標	砂防堰堤の流末水路整備箇所数 (延べ数)	－	12か所	16か所	↑
	排水ポンプ場整備箇所数(延べ数)	1か所	1か所	2か所	－
【1-7 交通安全・防犯対策の推進】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	交通安全や防犯の対策が十分に行われ ている	33%	50%	60%	↑
目標指標	交通安全教室参加者数(年間)	8,644人	12,188人	15,000人	↑
	歩道の新設改良延長(年間)	430m	150m	500m	－

【1-8 消費生活対策の充実】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	消費生活の相談窓口や情報提供など消費者保護の対策が充実している	19%	37%	50%	↑
目標指標	消費生活相談救済件数（年間）	159件 ※H26年度	132件	200件	—
	消費生活講座受講者数（年間）	470人	381人	800人	—

※1-8「消費生活相談救済件数（年間）」は、中間年度に設定した指標（当初値はH26年度実績）

【成果の検証】

- 「環境保全対策の推進」と「循環型社会の形成」の市民満足度は、全ての指標の中で1・2番目に高い数値となっている。CO2削減運動の取組は、事業所への呼びかけをこまめに行ったことで取組事業所が大幅に増加し、また、平成26年度の新しいごみ処理施設の稼働に伴う資源ごみの分別品目拡大等により、1人あたりのごみ排出量の削減やごみのリサイクル率が向上している。
- 「消防・救急体制の充実」は、消防救急無線のデジタル化や高機能消防指令センターの整備、消防団員の資機材整備などに取り組み、市民満足度の目標を達成した。また、目標指標の普通救命講習受講者数は減少傾向にあるものの、受講時間の短い救急・救命講習を含めると、応急手当講習全体での受講者は増加している。
- 「防災対策の充実」と「治山・治水対策の充実」は、市民満足度が大きく向上している。自主防災組織率は目標を達成し、防災情報メールサービス登録者数や砂防堰堤の流末水路の整備なども概ね進捗している。
- 「交通安全・防犯対策の推進」は、少しずつではあるが交通安全教室参加者が増加している。また、歩道の新設改良延長は年度により数値にばらつきはあるものの、年平均では目標値を上回っている。

【今後の課題】

- 災害廃棄物対策の強化・充実
- 震災・風水害対策が必要な防災拠点の整備
- 消防団の充実強化・活性化
- 自主防災組織等の育成・強化
- 高潮・波浪に対応する計画的・継続的な海岸施設の改修
- 通学路の安全・安心対策の推進

2 健やかな日々と地域のぬくもりにみちたまちづくり [健康・福祉]

【市民満足度指標・目標指標の達成状況一覧】

(状況：☆は目標達成、↑は上昇又は進捗有、－は下落又は進捗無)

【2-1 医療・保健サービスの充実】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	安心して医療や、健診など保健サービスを受けられる体制が整っている	51%	71%	80%	↑
目標指標	各種がん検診受診者数（年間）	12,536人	11,948人	16,000人	－
	乳幼児育児相談件数（年間）	2,151人	2,379人	3,000人	↑

【2-2 地域福祉の充実】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	地域での福祉活動が充実し、支え合い助け合いの関係ができています	31%	48%	60%	↑
目標指標	福祉活動ボランティア登録者数（年間）	1,519人	1,560人	1,800人	↑
	個別地域福祉活動計画策定地域数（延べ数）	－	15地域	15地域	☆

【2-3 子育て支援の充実】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	安心して子どもを育てられる支援や保育サービスが充実している	29%	52%	65%	↑
目標指標	あつまれ！わくわく広場参加者数（年間）	681人	833人	1,300人	↑
	一時預かり児童数（年間）	2,488人	3,327人	4,000人	↑
	こども相談室相談件数（年間）	460件	792件	1,200件	↑

【2-4 高齢者福祉の充実】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	高齢者が安心して暮らせる支援や介護サービスが充実している	28%	50%	60%	↑
目標指標	要介護認定者の介護保険サービス受給率	87% ※H26年度	90%	90%	☆
	地域包括支援センター相談件数（年間）	27,244件	38,044件	39,000件	↑
	認知症サポーター数	3,037人 ※H26年度	5,568人	6,000人	↑

【2-5 障害者福祉の充実】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	障害者に配慮したバリアフリーの施設が整っている	21%	36%	50%	↑
目標指標	障害者ホームヘルプサービス利用時間（年間）	11,745時間	8,512時間	15,000時間	－
	外出支援（移動支援）サービス利用者数（年間）	84人	61人	150人	－

【2-6 社会保障制度の充実】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	国民健康保険や国民年金などの社会保障制度について周知されている	29%	39%	60%	↑
目標指標	国民健康保険人間ドック受診者数（年間）	1,068人	1,496人	1,900人	↑
	国民健康保険料の収納率（現年度分）	88%	95%	95%	☆

※2-4「要介護認定者の介護保険サービス受給率」、「認知症サポーター数」は、中間年度に設定した指標（当初値はH26年度実績）

【成果の検証】

- 「医療・保健サービスの充実」は、総合的な施策の推進により市民満足度が大きく向上している。一方、関係機関との連携により各種がん検診を実施しているものの受診者が減少している。乳幼児育児相談件数は、子育て世代包括支援センターを開設し相談体制を充実したことより、増加している。
- 「子育て支援の充実」は、子育て応援サイトの開設や留守家庭児童学級の増設・時間延長など、様々なサービスの充実に取り組み、市民満足度が大きく向上している。一時預かり児童数やこども相談室相談件数は、年度によりばらつきがあるものの増加している。
- 「高齢者福祉の充実」は、介護事業所や施設の整備等により満足度が向上している。また、目標指標については、いずれの数値も伸びており、特に介護保険サービス受給率は、利用者ニーズを的確に把握したサービスが提供できたことにより目標を達成している。
- 「障害者福祉の充実」は、満足度が向上しているものの、目標指標である障害福祉サービス（ホームヘルプ・外出支援）は、別の支援サービスの利用者が増加していること等から、利用実績は当初より減少している。

【今後の課題】

- がん検診受診率の向上
- 地域共生社会の実現に向けた包括的な相談支援体制の構築
- 関係機関と連携した妊娠・出産・子育てにおける切れ目ない支援
- 地域包括ケアシステムの深化・推進
- 障害福祉サービスや地域での支援体制の充実

3 豊かな心の育みと文化の薫りにあふれるまちづくり [教育・文化]

【市民満足度指標・目標指標の達成状況一覧】

(状況：☆は目標達成、↑は上昇又は進捗有、－は下落又は進捗無)

【3-1 学校教育の充実】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	小・中学校の教育施設など、教育環境が整っている	55%	63%	75%	↑
目標指標	不登校児童生徒の割合	1.59%	1.75%	1.00%	－
	小・中学校施設耐震化率	43%	100%	100%	☆

【3-2 生涯学習の推進】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	生涯を通じて、いつでも、どこでも学べる環境が整っている	35%	43%	60%	↑
目標指標	聞いて得するふるさと講座（出前講座）利用件数（年間）	49件	67件	90件	↑
	図書館館外個人貸出冊数（年間）	657,109冊	585,667冊	800,000冊	－

【3-3 青少年の健全育成】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	青少年の健全育成や非行防止活動などが十分行われている	22%	38%	45%	↑
目標指標	街頭巡視活動参加者数（年間）	2,199人	1,850人	2,700人	－
	放課後子ども教室開設箇所数（延べ数）	4か所	15か所	15か所	☆

【3-4 スポーツの振興】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	生涯にわたりスポーツに親しめる環境が整っている	37%	54%	60%	↑
目標指標	スポーツ施設利用者数（年間）	254,000人	584,138人	600,000人	↑
	総合型地域スポーツクラブ設置数（延べ数）	－	1団体	3団体	↑

【3-5 文化・芸術の振興】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	文化・芸術活動が活発に行われている	31%	49%	55%	↑
	国際交流が進み外国（人）への理解が深まっている	13%	29%	35%	↑
目標指標	文化施設利用者数（年間）	189,000人	243,664人	320,000人	↑
	国際交流事業参加者数（年間）	529人	574人	1,000人	↑

【3-6 文化財の保護・継承】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	郷土の文化財が大切に保存・継承・活用されている	48%	69%	70%	↑
目標指標	市指定文化財件数（延べ数）	58件	67件	68件	↑
	史跡周防国衙跡の公有地化率	83%	95%	96%	↑

【成果の検証】

- 「学校教育の充実」は、小・中一貫教育の導入や全小・中学校の耐震化など、教育の質の向上や環境の整備に取り組んだ。小・中学校施設耐震化率は目標を達成したが、不登校児童生徒の割合は増加しており、現在、スクールソーシャルワーカーを増員するなど、学校復帰の促進に努めている。
- 「生涯学習の推進」の目標指標である聞いて得するふるさと講座(出前講座)は、防災に関する関心が高く、利用件数が増加した。一方、ICTの普及・多様化による紙媒体情報への依存度の低下により、図書館館外個人貸出冊数は減少している。
- 「スポーツの振興」は、市民プールや人工芝多目的グラウンドの整備、施設の指定管理者制度の導入など、利用者にとって魅力あるサービスの提供や管理運営に努めており、スポーツ施設利用者数は大幅に増加している。
- 「文化・芸術の振興」は、山頭火ふるさと館の整備や公会堂の改修、文化振興財団や文化協会と連携した多彩な事業の開催など、文化芸術活動に参加する機会の創出に努めており、文化施設利用者数は増加している。

【今後の課題】

- 安全・安心な教育環境の整備・充実
- 複合機能を有する拠点としての公民館のあり方の検討
- 各地域の状況に応じた放課後こども教室の運営改善
- 文化・スポーツ施設や文化財を活用した観光・交流施策との連携
- 英語教育やプログラミング教育に必要な環境整備の充実

4 産業の活力とふるさとの魅力がみなぎるまちづくり [産業・観光]

【市民満足度指標・目標指標の達成状況一覧】

(状況：☆は目標達成、↑は上昇又は進捗有、－は下落又は進捗無)

【4-1 農業の振興】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	地域の特性を活かした農産物が生産され、身近な場所で購入することができる	56%	73%	80%	↑
目標指標	農地利用集積割合（認定農業者・特定農業法人等管理水田面積割合）	24%	30%	50%	↑
	特定農業法人数（延べ数）	2団体	3団体	5団体	↑
【4-2 林業の振興】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	森林資源の保護育成や有効活用が行われている	15%	31%	35%	↑
目標指標	民有林造林面積（延べ面積）	4ha	4.11ha	10ha	↑
	小規模作業林道整備延長（延べ延長）	4,100m	4,999m	5,200m	↑
【4-3 水産業の振興】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	水産物が安定して供給され、魚の消費拡大が進められている	33%	50%	55%	↑
目標指標	漁港機能保全整備箇所数（延べ数）	－	5漁港	2漁港	☆
【4-4 工業の振興】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	企業の生産活動が活発に行われている	22%	52%	50%	☆
目標指標	企業誘致優遇措置指定件数（年間）	3件	4件	5件	↑
	売れるものづくり事業による新製品開発着手等事業者数（延べ数）	12社	51社	50社	☆
【4-5 商業・サービス産業の振興】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	商業活動が活発に行われ、身近な場所でさまざまな商品を購入したり、サービスを受けたりすることができる	28%	48%	50%	↑
目標指標	中心市街地の商店街空き店舗対策出店数（延べ数）	5店	42店	30店	☆
	中心市街地の1日の通行量（休日）	10,415人	11,256人	13,500人	↑
【4-6 観光の振興】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	まちの資源を活かした、魅力的な観光地となっている	17%	32%	40%	↑
目標指標	観光客数（年間）	678,000人	2,265,845人	2,200,000人	☆
	防府市観光ネットワーク加盟店数（年間）	22店	30店	40店	↑
【4-7 労働環境の向上】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	働く場所がたくさんあり、働きやすい環境が整っている	8%	28%	30%	↑
目標指標	就業サポート者（ほうふ若者サポートステーション登録者）進路決定率	50%	49%	85%	－

【成果の検証】

- 「農・林・水産業の振興」は、担い手不足や高齢化等、1次産業を取り巻く環境の厳しさが増す中、担い手の育成・支援、漁港の機能保全等に取り組み、目標指標は概ね進捗している。
- 「工業の振興」は、市民満足度が大きく向上し目標を達成した。工場等設置奨励制度の見直しや関係機関と連携した企業誘致に取り組み、企業誘致優遇措置指定件数は毎年一定数の指定を行っている。売れるものづくり事業による新製品開発着手等事業者数は、新商品開発や販路拡大を目指す事業者の掘り起こしを行うことで目標を達成した。
- 「商業・サービス産業の振興」は、中小企業サポートセンターの開設をはじめ、起業・創業等への様々な支援に取り組み、中心市街地の商店街空き店舗対策出店数や市民満足度は目標を達成した。
- 「観光の振興」は、明治維新150年関連事業の実施や「すごいな！防府」4施設を核とした情報発信、観光協会から観光コンベンション協会への組織改編・体制強化等による効果的な事業展開により、観光客数は目標を達成している。

【今後の課題】

- 1次産業の拠点を活かした担い手の確保・育成や関係機関等との連携強化
- 関係機関と連携した新規事業展開等への支援や企業誘致
- 中小企業サポートセンターを中心とした中小企業支援策の充実
- 商工会議所等と連携したまちなか商業の活性化
- 地域資源の磨き上げと効果的な情報発信
- あらゆる世代が能力を発揮して働くことができる社会の実現

5 都市のうるおいと生活空間の快適さのあるまちづくり〔都市・建設〕

【市民満足度指標・目標指標の達成状況一覧】

(状況：☆は目標達成、↑は上昇又は進捗有、－は下落又は進捗無)

【5-1 地域情報化の推進】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	身近にインターネットなど必要な情報を入手するための情報通信環境が整っている	30%	46%	50%	↑
目標指標	防府市ホームページアクセス回数(年間)	4,117,000回 ※H26年度	3,925,501回	4,500,000回	－
【5-2 広域交通ネットワークの整備】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	市中心部や周辺都市へ快適にアクセスできる幹線道路網が整っている	50%	55%	70%	↑
目標指標	都市計画道路の整備進捗率	52%	55%	56%	↑
【5-3 生活交通の充実】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	安全に通行できる生活道路が整備されている	43%	56%	65%	↑
	通勤や通学、買い物のための公共交通機関が整っている	27%	35%	50%	↑
目標指標	市道の改良率	69%	72%	74%	↑
	路線バス(市内で完結する系統)利用者数(年間)	420,000人	343,000人	330,000人	☆
【5-4 上下水道の整備】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	おいしい水が安定的に供給されている	67%	84%	80%	☆
目標指標	上水道地震対策3指標(基幹管路・浄水施設・配水池耐震化率:100%換算)	59%	61%	63%	↑
	公共下水道整備率	72%	84%	100%	↑
【5-5 住宅・住環境の整備】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	良好な住環境が整備されている	45%	71%	75%	↑
目標指標	市営住宅建替棟数(延べ数)	1棟	2棟	3棟	↑
	住宅・建築物耐震化診断等申請件数(年間)	3件	8件	30件	↑
【5-6 景観の保全・形成】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	美しい景観やまちなみが数多く残されている	35%	55%	60%	↑
目標指標	景観形成整備地区数(延べ数)	1地区	2地区	2地区	☆
【5-7 公園・緑地の整備】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	利用しやすく、安らげる公園や緑地が整備されている	26%	43%	50%	↑
目標指標	複合遊具設置公園数(延べ数)	4か所	11か所	11か所	☆
	記念植樹本数(延べ数)	1,040本	1,550本	1,600本	↑

【5-8 適正な土地利用の推進】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	計画的な市街化や農地の保全などそれぞれの地域にあった土地の整備・活用が進んでいる	17%	33%	40%	↑
目標指標	地籍調査進捗率	69%	77%	87%	↑

※5-1 「防府市ホームページアクセス回数（年間）」は、中間年度に設定した指標（当初値はH26年度実績）

【成果の検証】

- 「広域交通ネットワークの整備」は、都市計画道路の交通混雑緩和のため計画的に整備を進めると共に、国道・県道については国や県へ継続的に早期整備を要望しており、目標指標も順調に進捗している。
- 「生活交通の充実」は、交付金の活用等で計画的に市道改良を実施し、目標指標も順調に進捗している。路線バスの利用者数は、人口減少や急速なモータリゼーションの進展等により利用者が減少しているものの、目標を達成している。
- 「上下水道の整備」は、市民満足度目標を達成し、目標指標も概ね進捗している。上水道の地震対策や下水道の整備には多額の費用を要するが、効率的に事業を実施しており、今後も整備手法の見直し等を行いながら計画的・効率的に整備を進めていく。
- 「住宅・住環境の整備」における、市民満足度は大きく向上している。また、無料の耐震診断員派遣や支援制度の周知強化に取り組み、住宅・建築物耐震化診断等申請件数は、年度によってばらつきはあるものの件数は増加傾向にある。

【今後の課題】

- 行政情報システムの更なる経済的・効率的な運用
- 持続可能な公共交通ネットワークの構築
- 上下水道ビジョンに基づく経営基盤の強化・サービスの向上
- 管理不全な空き家の発生抑止・所有者等への意識啓発

6 自ら担う喜びとみんなで支えあう力で築くまちづくり [自治・協働]

【市民満足度指標・目標指標の達成状況一覧】

(状況：☆は目標達成、↑は上昇又は進捗有、－は下落又は進捗無)

【6-1 人権尊重社会の実現】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	お互いの個性や人権を尊重し合えている	34%	49%	60%	↑
	家庭・地域・職場などあらゆる分野での男女共同参画が進んでいる	27%	40%	50%	↑
目標指標	審議会等の女性委員割合	24%	30%	35%	↑
【6-2 地域コミュニティ活動の推進】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	自治会など地域コミュニティの活動が活発に行われている	36%	51%	60%	↑
目標指標	新たな地域コミュニティ組織構築地域数(延べ数)	—	0地域	15地域	—
	地区集会施設(単位自治会館等)数(延べ数)	149か所	153か所	160か所	↑
【6-3 自主的・主体的な市民活動の推進】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	ボランティア活動やNPO活動などに積極的に参加している	16%	21%	40%	↑
目標指標	市民活動支援センターの登録団体数(年間)	186団体	182団体	240団体	—
	NPO法人認証数(延べ数)	20法人	32法人	30法人	☆
【6-4 市民の参画と協働による市政の推進】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	広報紙などで、行政からの情報が分かりやすく説明されている	53%	66%	80%	↑
	市政に市民の意見が十分に反映されている	17%	23%	40%	↑
目標指標	公募委員がいる審議会等割合	12%	31%	50%	↑
【6-5 計画的な行財政運営の推進】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	市税が有効に使われている	14%	25%	35%	↑
目標指標	市民満足度(市民アンケート・45項目)の目標指標達成割合	—	11%	100%	↑
	市税の収納率(現年度分+滞納繰越分)	91%	97%	96%	☆
【6-6 広域連携の推進】		当初	現状	目標	状況
市民満足度	他の自治体との広域的な交流が行われている	12%	22%	35%	↑
目標指標	行政事務共同処理の状況	5事務	7事務	7事務	☆

【成果の検証】

- 「人権尊重社会の実現」は、人権学習会等を開催し、市民ぐるみでの人権課題に対する教育・啓発を推進した。また、男女共同参画の観点から、審議会等の女性委員の登用についても積極的に働きかけを行い、女性委員の割合は増加している。
- 「地域コミュニティ活動の推進」は、自治会館新設等への補助制度を見直すとともに制度の周知に努め、地区集会施設数は当初より増加している。新たなコミュニティ組織の構築は、各地域や各種団体の歴史や役割等の違いから進んでおらず、現在、地域の夢プランの策定支援や地域おこし協力隊の導入など、組織構築のきっかけづくりを進めている。
- 「自主的・主体的な市民活動の推進」は、市民活動支援センターを中心に市民活動ボランティアマッチングなど、ボランティア活動や市民活動の促進を図った。団体の後継者不足等により、センターへの登録団体数は減少しているものの、NPO 法人の認証数は目標を達成した。
- 「計画的な行財政運営の推進」は、防府市市税等コールセンターの設置や納付環境の整備（コンビニ収納）等に取り組み、市税の収納率は目標を達成している。
- 「広域連携の推進」は、平成29年に山口県央連携都市圏域が形成され、行政事務共同処理の事務数は目標を達成している。

【今後の課題】

- 市民活動支援センターの支援機能の充実
- 協働事業提案制度を活用した協働によるまちづくりの推進
- 持続可能な行財政基盤の確立
- 山口県央連携都市圏域における広域連携施策の推進
- 多文化共生の地域づくり

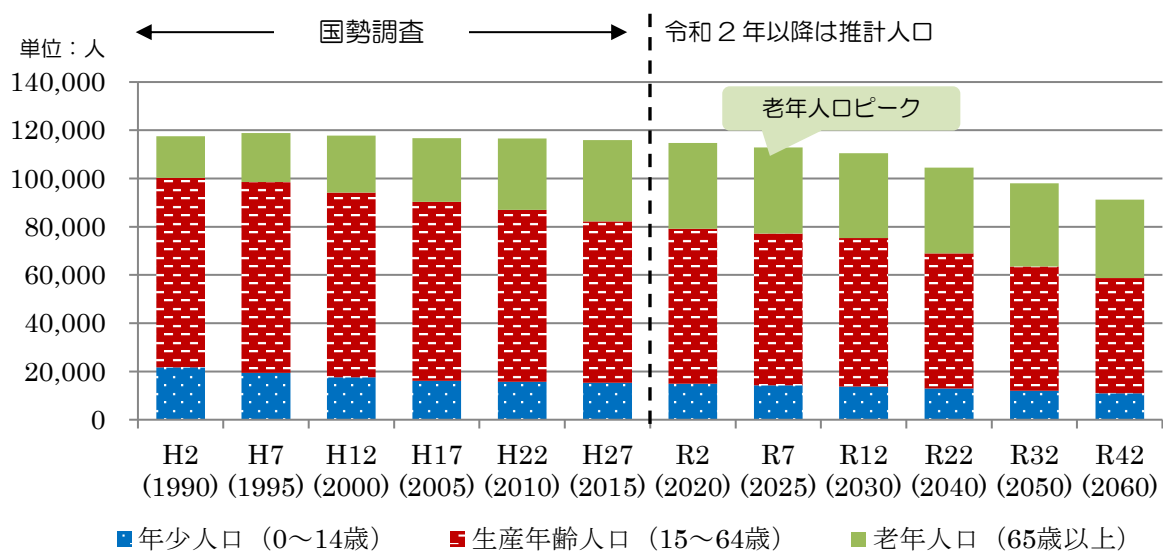
II まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進

【総括】

- 全国的に本格的な人口減少局面に入りつつある中、本市の総人口はほぼ横ばいで推移している。一方で、少子高齢化は確実に進行。
- 長期的な人口の将来推計（令和42年）においては、総合戦略の策定時の推計より比較的緩やかな減少曲線となる見込みである。
- 財政健全化を確立しながら、短期・中期の取組（安全・安心な暮らしの確保）と未来に向けた取組（次代を担う人材育成、多様な雇用の創出等）とのバランスをとり、本市の強みを活かして効果的な事業に集中的に取り組む必要がある。

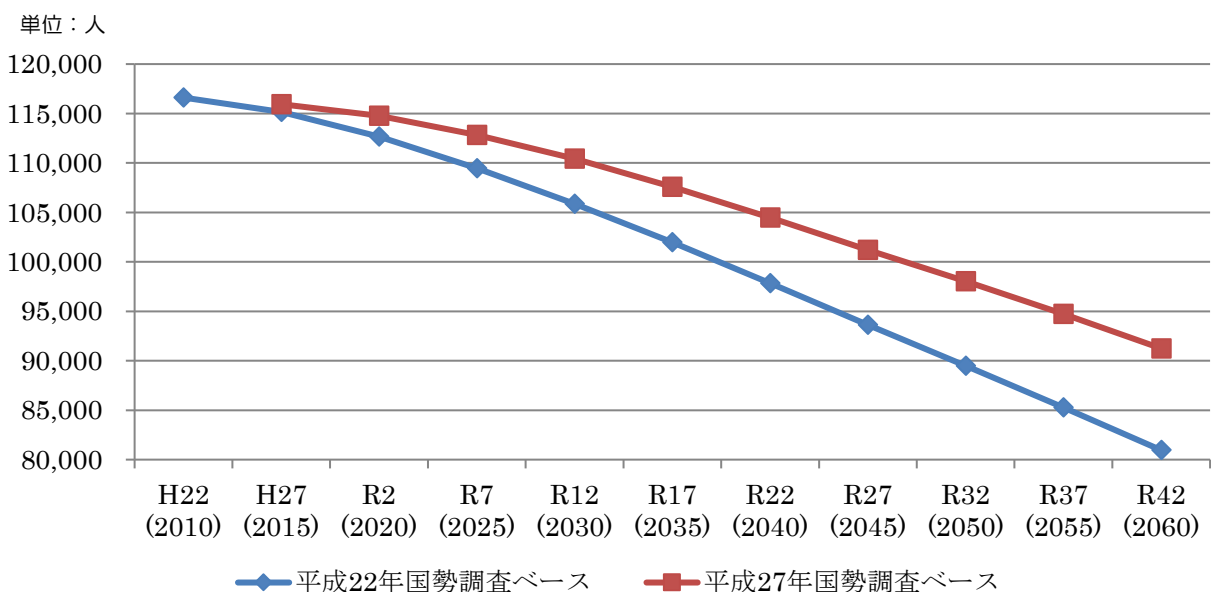
1 総人口及び年齢3区分別人口の推移

（出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所将来推計人口）



2 人口の将来推計（出典：国立社会保障・人口問題研究所）

- 直近の平成27年国勢調査に基づく将来人口は令和42年に約9万人になると推計（平成22年国勢調査に基づく将来推計は令和42年に約8万人）



3 まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標の状況

人口の将来展望（令和42年に総人口10万人が確保され、人口構成が安定）の達成に向けて設定した、5つの基本目標の状況については、以下のとおりである。

【基本目標1】若い世代の希望をかなえる結婚・出産・子育て環境の創造

数値目標 (H31)	実績値(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)
合計特殊出生率 1.80 以上	1.70	1.59	1.72	— (集計中)

【基本目標2】未来を拓く地域教育力の再生

数値目標 (H31)	実績値(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（小学校 100%・中学校 100%）	小学校 87.9%	小学校 86.1%	小学校 86.5%	小学校 85.8%
	中学校 76.1%	中学校 72.3%	中学校 73.5%	中学校 73.9%

【基本目標3】産業振興による新たな雇用の創出

数値目標 (H31)	実績値(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)
新規雇用創出数 600 人 ※5年間 (H27～H31) の累計	174 人	109 人 (累計 283 人)	134 人 (累計 417 人)	124 人 (累計 541 人)

【基本目標4】防府市への人材の定着・還流・移住の推進

数値目標 (H31)	実績値(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)
若者の転出超過人数（202人：H22～H26累計）の半減 100人 ※5年間 (H27～H31) の累計	290 人	201 人 (累計 491 人)	113 人 (累計 604 人)	127 人 (累計 731 人)

【基本目標5】元気みなぎるコンパクトシティの形成

数値目標 (H31)	実績値(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)
防府市に住み続けたいと思う人の割合 90%以上 (H27アンケート結果 83%)	令和元年アンケート結果 83%			

- 基本目標1及び基本目標3は、各施策の取組やKPI（重要業績評価指標）が概ね進捗しており、数値目標「合計特殊出生率」、「新規雇用創出数」は比較的順調に推移している。
- 基本目標4は、各施策のKPIの進捗にばらつきがあり、全国的な傾向（東京一極集中の加速）と同じく「若者の転出超過」は継続している。
- 基本目標2及び基本目標5は、各施策の取組やKPIは概ね進捗しているものの、数値目標は横ばいで推移している。

Ⅲ 健全財政の継続

【総括】

本市の財政の健全性について、目標数値と比較するといずれも良好な数値となっているが、地方債残高は平成21年度に比べ40億円の増となっており、財政調整基金残高についても、近年は減少傾向にある。

将来にわたり発展するための施策の展開を支える、持続可能な行財政基盤の確立を目指し、財政健全化の具体的取組を確実に推進する必要があることから、令和元年度より財政健全化対策本部を立ち上げている。

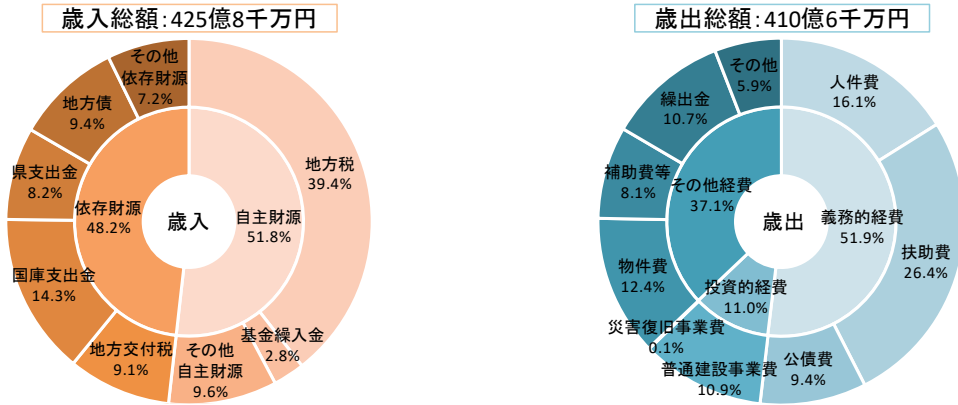
目標指標 実質公債費比率(%)			
当初 (平成21年度)	中間 (平成26年度)	現状 (平成30年度)	目標 (令和2年度)
8.9	3.6	3.0	9.0以下
(指標の推移に関する説明) 過去の借入金を返済する元利償還金の減少や普通交付税の増加などにより、比率は低下している。			

目標指標 将来負担比率(%)			
当初 (平成21年度)	中間 (平成26年度)	現状 (平成30年度)	目標 (令和2年度)
50.2	比率無し	比率無し	35.0以下
(指標の推移に関する説明) 基金などの増加により平成24年度から比率なしとなっており、現在も庁舎建設基金などの基金残高の増加などにより、引き続き比率なしとなっている。			

目標指標 地方債残高(億円)			
当初 (平成21年度)	中間 (平成26年度)	現状 (平成30年度)	目標 (令和2年度)
357	387	397	410以下
(指標の推移に関する説明) 臨時財政対策債(国の地方財政対策により、地方交付税の代替財源として地方公共団体が発行する特別な地方債)の増加などにより、地方債残高は増加している。			

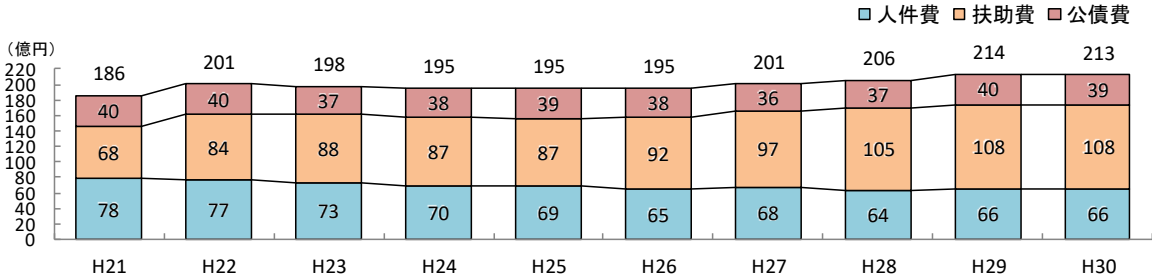
目標指標 財政調整基金残高(億円)			
当初 (平成21年度)	中間 (平成26年度)	現状 (平成30年度)	目標 (令和2年度)
30	55	32	20以上
(指標の推移に関する説明) 中間年度である平成26年度までは、毎年度の決算において、予算より税収が伸びたことなどにより基金残高は増加していたが、以降は財源不足額の増などにより基金の取崩額は増加し、基金残高は減少している。			

■平成30年度普通会計決算状況



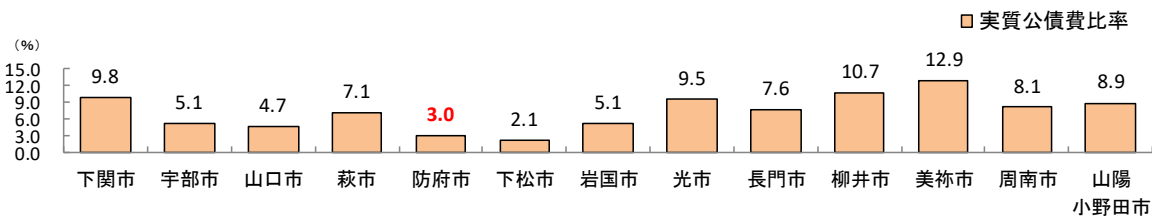
(財政課資料)

■義務的経費の推移



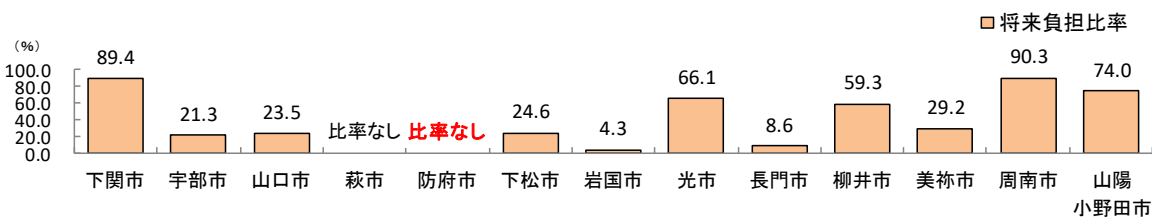
(財政課資料)

■平成30年度 実質公債費比率



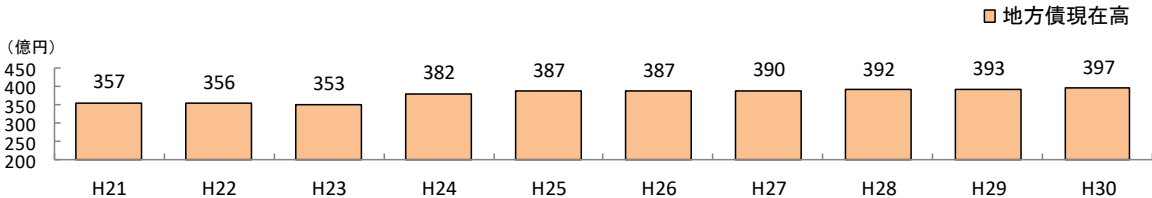
(山口県市町財政関係指標)

■平成30年度 将来負担比率



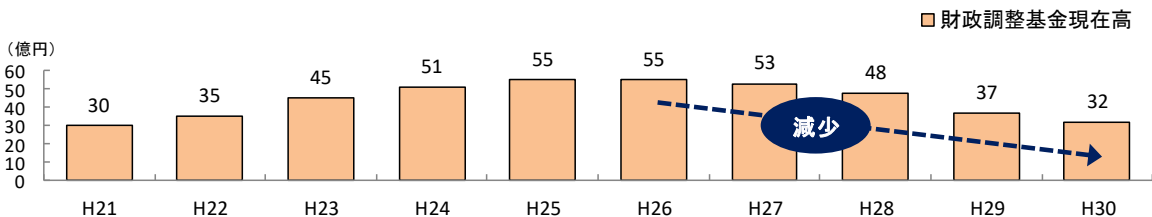
(山口県市町財政関係指標)

■地方債現在高の推移



(財政課資料)

■財政調整基金残高



(財政課資料)